

科目名	自然科学講義基礎(物理)						
科目名(英)							
単位数	5単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/75時間	担当者	小島 俊宣	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	物理分野の知識を習得し、幅広い教養を身に付ける。また、物理という科学の仕組みを理解することで、視野と発想力の基礎を自ら築く。						
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				自然科学分野の要点を理解し、初級程度公務員試験における標準レベルの問題について正解に達することができる。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【自然科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・オリジナル演習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	力①:運動方程式、力の合成・分解				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	2	力②:力のつり合い				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	3	滑車・てんびん・ばね・浮力①:滑車・てんびん				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	4	滑車・てんびん・ばね・浮力②:ばね・浮力				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	5	復習①(単元1～2)中間考査対策				【事後】授業範囲のドリル編の問題を解く	
	6	物体の運動①:相対速度・等速直線運動				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	7	物体の運動②:等加速度運動・落下体の運動				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	8	仕事・力学的エネルギー・熱量①:仕事、力学的エネルギー				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	9	仕事・力学的エネルギー・熱量②:熱量				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	10	電気①:オームの法則				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	11	電気②:電力とジュール熱				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	12	電気③:直流と交流、電流と地場				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	13	波動①:波の基本用語、音の性質				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	14	波動②:光の性質・波の性質				【事後】授業範囲の問題演習の問題を解く	
	15	復習②:(単元3～6)期末考査対策				【事後】授業範囲のドリル編の問題を解く	
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	◎	◎				20%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	自然科学講義基礎(数学)						
科目名(英)							
単位数	5単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/75時間	担当者	甲斐 友康	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員採用試験で出題されやすい単元を、演習プリントや麻生オリジナルテキストを使用して単元ごとに学習する。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。中学・高校内容の復習から、公務員試験で特に狙われる出題形式に慣れるための演習を行う。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					各単元の数学的公式を身につけ、例題や基本問題を解くことができる。	
		○				実践的な解法を身につけ、過去の公務員試験の問題を解くことができる。	
				○		演習試験への取り組みにより、受験に向き合う姿勢を培い、その意欲を高める。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【自然科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・補助プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	式の展開				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	2	因数分解				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	3	平方根(基本計算、有理化)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	4	1次関数(1)(1次関数の式決定・グラフのかき方)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	5	1次関数(2)(交点の座標・平行と垂直・中点・対称)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	6	1次関数(3)(1次関数の利用<面積・面積2等分>)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	7	2次方程式・2次不等式(1)(2次方程式・2次不等式の解き方)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	8	2次方程式・2次不等式(2)(解と係数の関係・解の個数)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	9	2次関数(1)(2次関数の頂点)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	10	2次関数(2)(2次関数の平行移動)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	11	2次関数(3)(2次関数と交点の個数)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	12	2次関数(4)(2次関数の最大値・最小値)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	13	三角比(1)(三角比の相互関係)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	14	三角比(2)(単位円とその値)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	15	三角比(3)(余弦定理、正弦定理、面積公式)				演習プリントを使用し今までの授業項目の復習を行う。	
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	演習試験	◎	◎				40%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	資料解釈講義基礎(資料解釈)						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	15時間	担当者	吉武 伸生	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員採用試験で出題されやすい単元を、演習プリントや麻生オリジナルテキストを使用して単元ごとに学習する。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。複雑な資料から正答を見抜くための計算方法やキーワードを習得し、実戦的な解法を身につけることに主眼をおく。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各資料の基本的な読み解き方を身につけ、例題や基本問題を解くことができる。	
		○				過去問の演習を通し、実際に出題されるレベルの問題を解けるようになる。	
				○		演習試験への取組みにより、受験に向き合う姿勢を培い、その意欲を高める。	
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【数的推理・資料解釈】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 導入①(1～2) 図表の見方、割合の計算				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	2	第1章 導入②(3～4) 割合の計算、増減率の考え方				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	3	第1章 導入③(5) 分数の大小比較				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	4	第2章 実数と構成比①(導入、No.1～3)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。	
	5	第2章 実数と構成比②(No.4～6)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。	
	6	第3章 指数と構成比①(導入、No.1～3)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。	
	7	第3章 指数と構成比②(No.4～6)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。	
	8	第4章 増減率①(導入、No.1～2)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。	
	9	第4章 増減率②(No.3～5)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。	
	10	第5章 その他の資料(No.1～4)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。	
	11	第6章 問題演習①(No.1～3)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。	
	12	第6章 問題演習②(No.4～6)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。	
	13	第6章 問題演習③(No.7～9)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。	
	14	総復習①(プリント演習)				配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
	15	総復習②(プリント演習)				配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。	
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。 また、定期試験は対面形式で行うが、その実施が困難な事情が生じた場合は、オンライン形式への変更、又は他の評価方法への変更がありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	演習試験	◎	◎		○		40%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	公務員リテラシー基礎Ⅱ											
科目名(英)												
単位数	1単位		時間数		15時間		担当者		横山真太郎/甲斐友康/江藤弘明/ 船木竜太/豊田亮/小島俊宣/佐藤美聡			
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		中島賢一(県職員・市職員として勤務後、 現・公益財団法人フェロー)			
対象学科・学年	公務員総合科1年											
授業概要	公務員になるにあたって必要な知識と教養を身につけるとともに、社会問題や課題について考え、分析し、行動する力をつける。また、学外講師よりこれからの公務員に求められる資質を学び、公務員に対しての自己の気づきを醸成する。											
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○		○		世の中の事象に対し、深く注意を払い、考察し、自分自身の考えを述べるようになる。						
テキスト・教材 参考図書												
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
		1. ガイダンス 2時間										
		2. 講演 2時間										
		3. 課題発見及び分析・討議・研究 5時間										
		4. 調査内容整理・発表準備 4時間										
		5. 研究内容動画作成 2時間										
評価方法	発表による評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。											
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	発表		○		○				◎			100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。											